科目名称：	人間と社会	
担当者名：	竹村　裕樹	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2

授業の目的・テーマ

人間は社会の中で生かされている一方、社会を協働して創り上げていると言える。近年、人口減少・少子高齢化の進展、ＩＴやＡＩの進化、豪雨豪雪や地震等による災害の多発、地域のまちづくりなど人間を取り巻く社会環境は大きく変化している。　この講義では、現代社会における重要なテーマについて、その現状と課題を理解するとともに、社会課題の解決策について検討することを目的とする。講義に加えて、ワークショップ形式によりグループ討議しながら課題の解決策を取りまとめる。

授業の達成目標・到達目標

現代社会のさまざまな課題について関心を示し、その現状と課題を踏まえて自分たちはどう考え、行動したらよいかを学ぶ機会としたい。特に、大学や地域社会で生活する際にもすぐに役立つテーマを厳選しているので前向きに取り組んでほしい。
１．現代社会での諸課題の現状と問題点を把握するとともに、学生達の課題解決方策を考える能力を育成する。
２．グループ討議により課題解決方策を取りまとめ発表することにより、学生達のプレゼン能力の向上を図る。

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
全学DP(1)			70	30	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	県庁職員 都市計画、街づくり、総合土木等	36年
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
グループでの議論	グループ員から満遍なく意見を求めて議論を深められた。	自ら積極的に発言し、議論を深めることに貢献した。	他者への意見を表明するなど議論に参加した。	議論の場に居たが意思表示はなく、議論に参加しなかった。
自分の意見の発言	テーマに沿い積極的に良い意見を発表し議論を進展させた。	他者の意見に対し、自分の考え方を示し、議論を深めた。	他者の意見に対し、賛成や反対の意思表示はできた。	自分の意見をほとんど表明できなかった。
レポートの作成	文章や図表の作成では自らリードし中心的役割を果たした。	文章や図表の作成にあたり、積極的にサポートした。	文章や図表の作成にあたり、ある程度の役割を果たした。	文章や図表の作成にあたり、ほとんど関わらなかった。
プレゼンの作成・発表	プレゼンの作成・発表では積極的に中心的役割を果たした。	プレゼンの作成・発表にあたり、積極的にサポートした。	プレゼンの作成・発表にあたり、一定の役割を果たした。	プレゼンの作成・発表にあたりほとんど関わらなかった。

授業の内容・計画		事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回	オリエンテーション：本講義の目的と概要、全体の進め方、受講の留意点、社会課題の主な事例	現代の社会課題について、どんな事項があるか、関心を持って調べる。	30分
第２回	災害に強いまちづくり①：災害(地震、津波)の事例と課題、能登半島地震の被災状況と復旧、復興	災害に強いまちづくりについて関心を持って調べる。	30分
第３回	災害に強いまちづくり②：災害(水害、雪害、土砂災害)の事例と課題、ハザードマップ	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第４回	災害に強いまちづくり③：防災・減災、災害時の対応策（避難、防災グッズ、共助、地域ｺﾐｭﾆﾃｨ）	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第５回	人口減少・少子高齢化の現状と課題①：都市と地方、高齢者と福祉、女性参画など	人口減少・少子高齢化について関心を持って調べる。	30分
第６回	人口減少・少子高齢化の現状と課題②：移住定住、働き方改革、子育て環境、空き家・空き地対策など	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第７回	課題テーマⅠ「人口減少時代における移住定住のススメ」グループ討議、課題整理、解決案の提案	移住定住について授業の整理をして、グループ討議の準備をする。	30分
第８回	課題テーマⅠ：各グループによる解決案Ⅰの取りまとめ、プレゼン発表と意見交換	グループ討議での課題解決案の取りまとめについて準備する。	30分
第９回	北陸新幹線延伸と観光まちづくり①：観光の意義、観光の構造（観光資源、観光インフラ等）	北陸新幹線延伸と観光まちづくりについて関心を持って調べる。	30分
第10回	北陸新幹線延伸と観光まちづくり②：、観光の歩み（日本史、世界史）、ニューツーリズムの事例	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第11回	北陸新幹線延伸と観光まちづくり③：北陸新幹線金沢開業の効果と敦賀延伸、観光公害（オーバーツーリズム）	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分
第12回	課題テーマⅡ「新幹線や地域資源を活かした観光まちづくり」ｸﾞﾙｰﾌﾟ討議、課題整理、解決策提案	新幹線や観光まちづくりについて授業の整理とグループ討議の準備	30分
第13回	課題テーマⅡ：各グループによる解決案Ⅱの取りまとめ、プレゼン発表と意見交換	グループ討議での課題解決案の取りまとめについて準備する。	30分
第14回	ＩＴ化・ＡＩ進化の現状と課題①：ＩＴ化の変遷と応用事例（ｽﾏﾎ、IoT、ﾄﾞﾛｰﾝ）	ＩＴ化・ＡＩ進化について関心を持って調べる。	30分
第15回	ＩＴ化・ＡＩ進化の現状と課題②：ＡＩの進化と事例（医療福祉、文化、生成ＡＩ）、講義全般の振返り・まとめ	前回の授業を振り返りながら、左記の項目について調べる。	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業への受講姿勢（30%）、課題Ⅰ～Ⅱのグループ協働レポート・期末課題レポート（70%）

課題に対してのフィードバック

グループワークでの成果は、評価して返却するとともに、次回以降の振り返りに活用する。

教科書・参考書

教科書；特になし。適宜プリントを配付する。
参考書；川上光彦『地方都市の再生戦略』（竹村共同執筆）